入学時期:	4 月生	学科:	教養重点科	コース:	2 年	クラス	A
科目名:	**判断推理**					年次:	**2 年次**
担当者:	山口　祥平 (実務経験あり)	単位:	6 単位	授業時間:	90 時間		

■授業概要・方法等

判断推理は教養試験(基礎能力試験)で出題される科目で、論理的思考力、推理力、判断力など一般知能を試す科目である。公務員の業務においても様々な情報を整理し、先のことを予測・判断する力が必要となる。本科目では、「文章問題」「空間把握」と大きく2つに分け、文章中の条件や、イメージするしかない図形の情報をいかに整理するのか、再度基礎から復習、問題の演習を通して効率的な情報の整理の仕方を身につける。また、大学職員だった科目担当者が当時関わった事案を元に、実際に働く現場で、どのような情報を整理するのかも考えたい。

■学習・教育目標及び到達目標

条件を分析し、どのようにすれば正確にかつ効率的に情報を整理できるのか、基礎的な知識を利用して考え、応用出来るようになる。

■成績評価方法および基準

- 出席状況・・・　60%　※出席状況は不定期で行うレポートの提出により評価する。
- 確認テスト・・・　40%　※確認テストの合計点を 40 点満点に換算する。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

『基礎総演習【文章問題】』、『基礎総演習【空間把握】』(本校独自)
『初級分野別過去問　No.1 文章問題』、『初級分野別過去問　No.2 空間把握』(本校独自)
他、試験種別過去問

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【　判断　】

(1～59 時間)　時期:4 月～8 月後半
『基礎総演習』、『初級分野別過去問』を用いて、考え方の基礎を理解する。
(60 時間～)　時期:8 月後半～10 月
各試験日程に合わせ、『試験種別過去問』を用いて、様々な問題の解き方を学ぶ。

※　内容について【文】は文章問題、【空】は空間把握のテキストを用いる。

時 数			内 容
1	～	4	【文】命題／対応関係
5	～	7	【文】対応関係　／【空】軌跡
8	～	11	【空】軌跡／展開図
12	～	13	【空】展開図
14	～	17	【空】サイコロ／【文】比較･順序
16	～	21	【文】比較･順序／位置
20	～	24	【空】立体図形の分割･構成／平面図形の分割･構成
25	～	28	【空】平面図形の分割･構成／【文】嘘つき
29	～	30	【文】嘘つき／試合と勝敗
31	～	33	【文】試合と勝敗／方位
34	～	36	【空】立体の切断
37	～	40	【空】串刺し／投影図
41	～	43	【空】投影図／着色問題
44	～	46	【空】陰影／【文】暗号
47	～	49	【文】暗号／手順とゲーム
50	～	52	【文】その他の問題／【空】位相
53	～	55	【空】位相／折り紙
56	～	58	【空】回転体／その他の問題
59	～	59	【空】その他の問題
60	～		《過去問》国家一般、刑務官、入国海保、警察官

■履修にあたっての注意事項

・ レポート、確認テストの欠席について

・・・レポート配付時、または確認テスト実施時に欠席していた場合、以下の条件を満たしている場合には、レポートの再配付および確認テストの追受験を認める。

① 事前に学校に連絡があること。

② 欠席の理由が正当な理由として認められること。

正当な理由：病気（ただし、病院に行ったことを証明できる場合）、忌引き、受験

■その他